

ボランティアの たまご

No.200
7月号

編集・発行／四日市市ボランティアセンター 令和4年6月20日発行

活躍中のボランティアさんの声をお届け!!

ボイス
VOICE

「自分、周りの方、自然などの
全ての命を大切に！」



うえまつ まさひろ

今回は 植松 正弘 さん

『NPO法人 PPK四日市』理事長。四日市大学周辺の里山保全活動を行っている。

また、『四日市市ラジオ体操連盟』会長を務め、子どもたちや地域の方の健康増進にも尽力している。

Q. ボランティア活動を始めたきっかけは何ですか？

5歳の頃に大病を患った経験から、命を大切にし、「地域や誰かのためにできることをしたい」と思いました。初めてのボランティアは、子どもたちへのラジオ体操の指導で70年経った今でも続けています。平成11年には、仲間と共に「PPK四日市」を設立（平成13年にNPO法人設立）し、里山保全活動を中心とした社会貢献活動を始めました。団体名の“PPK”は、“ぴんぴんころり”の頭文字をとっており、いつまでも生き生きと活動したいという想いを込めています。

Q. 活動の中で大切にしていることは何ですか？

里山保全活動では、危険を伴う作業もあるため、安全には十分気をつけています。そのために、仲間とのコミュニケーションやチームワークを大切にしています。また、四日市大学の学生に里山保全について講義や実技指導を行う際は、「どうしたら、若い世代に伝わるかな？」と常に考えています。世代を超えた交流機会であるため、昔から伝わる知恵なども交えて“自分たちだから伝えられること”を意識して関わっています。

Q. 活動の魅力はどんなことですか？

「地域や誰かのためにできることをしたい」という想いで始めたボランティア活動が、今では、自身の健康に繋がっていると思います。誰かのためになり、自分のためにもなっていると思うと、ボランティア活動はお互い様ですね。

Q. 最後に一言！

自分の強みを活かした活動に出会えると、楽しく生き生きと活動できると思います。これからボランティアをされる方は、私たちの活動もぜひ見学にいらしてくださいね。

ボランティア募集

●障害者スポーツのお手伝い

依頼団体：エンジョイSSピンポンクラブ

日 時：①令和4年7月17日（日）

②令和4年8月11日（木・祝）

いずれも13：00～16：00

※13：00現地集合

行 事 名：SSピンポン練習会

場 所：ヘルスプラザ2階 軽運動室

持 ち 物：動きやすい服装、上靴、タオル、飲み物

備 考：ヘルスプラザ卓球使用料280円

（中学生以下140円）

申込締切：①7月15日（金）

②8月10日（水）

●ボランティアニュース封入のお手伝い

依頼団体：四日市市ボランティアセンター

日 時：令和4年7月20日（水）

13：30～15：30

※13：30現地集合

場 所：四日市市総合会館3階 軽作業室

申込締切：7月19日（火）

お問い合わせ・申込は、
ボランティアセンターまでお願いします。



コロナ禍での ボランティア活動 ～前号の続き～

ボランティア団体登録と併せて、団体のみなさんにコロナ禍での活動についてアンケートをお願いしました。ご協力ありがとうございました。登録団体のうち約9割の団体が「通常通り」「回数を減らして」「内容を変更して」活動していると回答。前号（199号）に続き、ボランティア活動の際に実施した工夫について紹介します。

活動の際に実践した“新たな取り組み” “工夫したところ”

“屋外での活動を増やしました”

「室内での活動が難しい時期には、除草作業などの屋外でできる活動を増やしました。」

「ウォーキングなどの屋外での活動を取り入れました。」



“オンラインを活動に導入しました”

「定例会などの会議は、三密対策のため、オンラインを活用して実施しました。」



「施設に訪問して、利用者さんと直接交流することが難しかったため、オンラインで交流し、新たな関わりができました。」

“ひとり暮らしの高齢者の 安否確認を行いました”



「回数を減らしてサロンを実施。サロンが実施できないときは、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、安否確認を行うなど、活動内容を工夫しました。」

～ボランティアセンターより～

コロナ禍のボランティア活動において、従来通りの活動が難しくても、場所や方法、内容を変更し、“新しいかたち”で、活動を継続されている団体が多くありました。新しいことにチャレンジしていくことは、容易なことではないと思いますが、それらを乗り越えて今できる活動を続けられていることを、頼もしく感じました。今後も、みなさんの声を参考にしながら事業を実施していきたいと思います。



助成金情報 (公財) SOMPO福祉財団「住民参加型福祉活動資金助成」

助成対象者：5人以上で活動する営利を目的としない法人格の無い団体（インターネット申請が可能な団体）
助成対象の活動：地域における高齢者・障害者・子ども等に関する複合的な生活課題に、地域住民が主体となって、包括的な支援を行う活動

助成金額：1団体30万円を上限（総額450万円を予定）

助成内容：助成対象の活動に関する人件費、会議費、機材、什器、備品購入費、交通費、通信費、工事改修費など

備考：日頃から活動の相談など支援を受けている先（社会福祉協議会、行政機関など）に『推薦者コメント』を提出し推薦を受けること。

応募締切：7月15日（金） 問合せ先：公益財団法人 SOMPO福祉財団

詳細はHPをご確認ください。 <https://www.sompo-wf.org/jyosei/juminsankagata.html> ⇒

推薦の依頼は、締切の1週間前までをお願いします。



はじめてのボランティア説明会のお知らせ

「ボランティアってよくわからない」という人も参加OK！一緒に自分に合った活動を見つけていきましょう！

日程： 7月 5日（火）19:00～20:30 8月 2日（火）19:00～20:30
7月19日（火）10:00～11:30 8月11日（木）10:00～11:30
7月23日（土）13:30～15:00 8月20日（土）13:30～15:00

※参加ご希望の方は事前にボランティアセンターまでご連絡ください。

*その他のボランティア募集や助成金情報、イベント・講座情報はホームページにも掲載しています。

Instagramとフェイスブックページを随時更新中！「いいね」を押してね！

URL: <http://yokkaichi-shakyo.or.jp/home/02/> ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒



この紙面の内容は、状況によって中止の場合がございます。ご了承ください。

*『ボランティアのたまご』に関する問い合わせ・申し込みは、ボランティアセンターまでお願いします。

*『ボランティアのたまご』を掲示していただける場所や、置かせていただける場所を募集しています。

心当たりの場所がございましたらご紹介ください。

ボランティア活動をはじめてみたい人、ぜひボランティアセンターまでお問い合わせください！

四日市市ボランティアセンター 住所 〒510-0085 四日市市諏訪町2-2（四日市市総合会館2階）

TEL 059-354-8144 FAX 059-354-6486 E-mail y-vc@m3.cty-net.ne.jp

